

3 事業報告書

事業報告書

令和6年度(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(1) 農作物共済関係

(引 受)

△印 減

年 産	共 済 目 的	組 合 員 数	引 受 面 積	共 済 金 額	徴収共済 掛 金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手 持 共済掛金 (A) ± (B)
		人	a	円	円	円	円
6	水 稲	20,845	1,187,863.3	9,150,941,958	78,360,230	78,280,578	156,640,808
	前年対比	△1,546	△91,948.3	△1,090,651,695	20,661,965	20,854,531	41,516,496
	麦	17	5,103.2	1,522,787	12,944	12,471	25,415
	計	(延) 20,862 (実) 20,848	1,192,966.5	9,152,464,745	78,373,174	78,293,049	156,666,223
7	麦	15	3,313.5	1,036,950	6,960	6,953	13,913
	前年対比	△2	△1,789.7	△485,837	△5,984	△5,518	△11,502

年 産	共 済 目 的	計 画 達 成 率 面 積	農 林 統 計 引 受 率	10 a 当たり平均		1組合員当たり		平 均 単 位 当 たり共済金額 (kg 当 たり)
		%	%	基 準 収 穫 量 kg	農 家 負 担 掛 金 円	引 受 面 積 a	農家負担 掛 金 円	円
6	水稲	98.8	56.7	504	660	57	3,759	188.76
	麦	87.7	12.8	194	25	300	761	19.16
7	麦	64.8	7.9	190	21	221	464	20.62

引受の概要

(水稲)

水稲の引受面積は、農家の高齢化や担い手不足による離農、収入保険への移行により約919ha減少した。

県内の作付面積20,955haに対する引受率は56.7%、共済金額は91億5,094万円（対前年比89.4%）となった。

(麦)

麦の引受面積は、新規加入者や継続加入者の作付面積の増加等があったものの、作付け中止や規模縮小等により、引受面積は約18ha減少した。

県内の作付面積418haに対する引受率は7.9%、共済金額は104万円（対前年比68.1%）となった。

(被 害)

△印 減

共 済 目 的		被害組合員数	被 害 面 積	共 済 金	共 済 金	平 均 共 済 金	
					共 済 金 額	10アール当たり	1 組合員当たり
水 稲		人	a	円	%	円	円
		630	20, 331. 5	38, 219, 921	0. 4	18, 798	60, 667
麦		7	1, 427. 1	56, 069	3. 7	393	8, 010
計		延 637	21, 758. 6	38, 275, 990	-	-	-
前年	水 稲	△ 47	△ 1, 248. 9	△ 779, 547	0. 0	726	3, 061
対比	麦	1	833. 6	△ 587	0. 1	△562	△1, 433

被害の概要

(水 稲)

7月上旬の大雨や台風10号により畦畔の崩落による稲株の流失や河川からの土砂流入が発生、また、夕立や台風10号の影響で倒伏による穂発芽の被害が発生した。

7月下旬からの記録的な高温や少雨の影響により、水不足による生育不良が発生した。病害は、いもち病による不稔実の発生及びごま葉枯病、紋枯病による生育不良の被害が発生した。

獣害は、全域でシカやイノシシによる食害及び踏み荒らしが発生し、一部地域でクマ、サル、ヌートリアの食害等が発生した。

虫害では、ジャンボタニシやコブノメイガによる食害及びイネカメムシ、トビイロウンカによる吸汁加害が発生した。

(麦)

幼苗期の降雨で土壌の湿潤による土中の酸素欠乏により、生育不良となる土壌湿潤害が発生した。

獣害は、シカによる生育初期の新芽の食害、イノシシによる乳熟期の食害や踏み荒らしが発生した。

(支 払)

共 済 目 的	支 払 月 日	実支払共済金	共 済 金		支 払 財 源			実 支 払 金 共 済 金
			保 険 金	手 持 掛 金 充 当 額	法 定 積 立 金 充 当 額	特 別 積 立 金 充 当 額	そ の 他	
水 稲	令和6年12月25日、27日 令和7年3月19日	円 38, 219, 921	円	円	円	円	円	%
麦	令和6年8月16日	56, 069						100. 0
計		38, 275, 990	0	38, 275, 990	0	0	0	100. 0

(損害防止)

広報紙等により、損害防止情報を提供するとともに、侵入防止資材として「防護ネット(使用済みのり網)」の取扱いを行った。

(2) 家畜共済関係
(引 受)

△印 減

項 目 区 分		組 合 員 数	有 資 格	事業計画	引 受	引 受 頭 数	共 済 金 額	徴収共済掛金	納入保険料	交 付 金	手持共済掛金	
			頭 数	頭 数	頭 数	事業計画頭数						
死 亡 廃 用	乳 牛 育 成 乳 牛	}	人	頭	頭	頭	%	千円	円	円	円	
			87	5,714	6,832	6,807	99.6	1,580,506	40,058,234			
	└ 子牛等(内数)	}		1,519	4,038	3,964	98.2	657,705	4,283,548			
				(330)	(383)			0				
				4,204	4,770	4,437	93.0	1,066,333	4,902,178			
	繁殖用雌牛 育成・肥育牛	}		21,813	37,762	36,979	97.9	13,614,540	46,591,775			
					(4,740)	(4,940)			0			
	種 豚		3	4,252	3,906	521	13.3	36,289	5,071			
		肉 豚		5	47,523	21,926	21,135	96.4	202,896	22,905,829		
	肉用種種雄牛				2	0	-	0	0			
計		(実 422)	504	85,025	79,236	73,843	93.2	17,158,269	118,746,635			
前 年 対 比			△ 44	7,604	△ 4,313	△ 9,721		△ 2,406,635	△ 30,184,080			
疾 病 傷 害	乳 用 牛		96	7,233	8,101	7,603	93.9	292,359	54,209,269			
	肉 用 牛		430	26,017	14,701	15,306	104.1	381,405	45,065,380			
	種 豚		0	4,252	2,127	0	0.0	0	0			
	肉用種種雄牛		0	0	2	0	-	0	0			
計		(実 433)	526	37,502	24,931	22,909	91.9	673,764	99,274,649			
前 年 対 比			△ 45	△ 3,606	△ 8,084	△ 1,972		△ 66,690	△ 19,670,746			
合 計			1,030	85,025				17,832,033	218,021,284	0	207,026,721	425,048,005

※有資格頭数は、令和7年2月1日現在。

引受の概要

令和6年度は物価高騰等により、依然として厳しい状況が続いており酪農家や和牛繁殖農家の廃業がみられた。死亡廃用共済では、全体で頭数、共済金額ともに減少がみられ、前年対比で搾乳牛は659頭、共済金額は約3億3,770万円減少、育成乳牛では1,020頭、共済金額で約3億9,053万円減少した。繁殖用雌牛では、249頭、共済金額で約2億7,304万円減少した。育成・肥育牛では、引受頭数315頭、共済金額で大きく減少し約12億1,001万円減少した。また、種雄牛について飼養中止のため、2頭減少となった。

種豚においては、引受頭数で3,372頭、共済金額で1億5,680万円の減少、肉豚は、引受頭数で4,104頭、共済金額で3,832万円と頭数が大きく減少した。疾病傷害共済では、頭数、共済金額は前年度に対してもに減少した。乳用牛では96頭の増加、肉用牛において39頭の増加があったものの、種豚は2,105頭の減少、種雄牛は飼養中止のため、2頭減少し、全体では1,972頭の減少となった。共済金額はすべての種類で減少し、全体で約6,669万円減少となった。

(事 故)

項 目		死 亡 廃 用 共 済				
区 分		死 亡 頭 数	法 令 殺 頭 数	廃 用 頭 数	総 頭 数	支 払 共 済 金
搾 乳 牛 育 成 乳 牛 └ 子牛等(内数) 繁 殖 用 雌 牛 育 成 ・ 肥 育 牛 └ 子牛等(内数) 種 豚 肉 豚 肉 用 種 種 雄 牛	頭	頭	頭	頭	円	
	299	0	167	466	100,109,092	
	89	0	0	89	1,921,567	
	(84)	(0)	(0)	(84)		
	67	0	20	87	13,645,055	
	574	0	38	612	45,116,471	
	(492)	(0)	(1)	(493)		
	48	0	0	48	2,347,400	
	5,940	0	0	5,940	50,485,222	
	0	0	0	0	0	
計		7,017	0	225	7,242	213,624,807
前 年 対 比		1,656	0	△ 6	1,650	△ 52,453,899

事故の概要

(死廃事故)

牛では、前年対比で搾乳牛で53頭、支払共済金は約2,819万円の減少、育成乳牛で75頭、約698万円の減少。繁殖用雌牛においては頭数は9頭増加したが、支払共済金は約297万円の減少となった。育成・肥育牛では支払いが132頭減少、支払共済金約2,097万円の減少となった。種豚では152頭、約673万円の減少。肉豚では2,053頭、約1,337万円増加となった。

△印 減

項 目		疾 病 傷 害 共 済	
区 分		件 数	支 払 共 済 金
乳 用 牛 肉 用 牛 種 豚	件	件	円
	8,288	128,419,906	
	10,959	129,957,721	
	229	959,418	
計		19,476	259,337,045
前年対比		△ 1,749	7,186,928

(病傷事故)

前年に比べ乳用牛の支払いは16件、支払共済金は約820万円増加した。肉用牛では483件減少したが、支払共済金は約474万円増加した。種豚の事故は1,282件、約575万円と前年よりも大きく減少した。

(損害防止)

実 施 種 目		対 象 頭 数	経 費 概 算	摘 要	
特 定 損 害 防 止 事 業		頭 449	円 3,653,710	乳用牛:周産期疾患 243頭 肉用牛:周産期疾患 206頭	
一 般 損 害 防 止 (診 療 所 実 施)	家 畜 共 済 事 故 低 減 指 導 事 業	頭 476	円 1,662,000	乳用牛:代謝プロファイルテストによる飼育管理、疾病予防指導 406頭 肉用牛:代謝プロファイルテストによる飼育管理、疾病予防指導 70頭	
	計	476	1,662,000		
一 般 損 害 防 止	家 畜 共 済 疾 病 予 防 事 業	頭 22,913	円 936,870	実施農家数 447戸（消石灰配布）	
	計	22,913	936,870		

(診療所)

診 療 所 名	獣 医 師 数	有 資 格 頭 数	加 入 頭 数	診 療 件 数		損 害 防 止 事 業 （ 診 療 所 実 施 ）			そ の 他		摘 要
				共 済 事 故	事 故 外	一 般	特 損	経 費 概 算	予 防 注 射	人 工 授 精	
東 広 島	人 3	頭 5,170	頭 2,642	件 1,341	件 1,360	頭 19	頭 50	円 472,220	頭 1,833	件 228	
北 広 島	7	4,852	4,553	3,687	4,338	194	126	1,731,570	5,287	1,275	
府 中	7	18,413	7,372	4,229	4,353	101	100	1,117,000	5,923	528	
庄 原	6	4,131	4,271	4,096	4,134	79	120	1,272,040	5,613	901	
三 次	3	4,936	4,071	2,514	2,604	83	53	722,880	2,482	298	
計	26	37,502	22,909	15,867	16,789	476	449	5,315,710	21,138	3,230	

(3) 果樹共済関係
(引 受)

△印 減

果 樹 区 分		項 目 年 産		組 合 員 数		引 受 面 積	共 済 金 額	徴収共済掛金 (A)	交 付 金 又 は 納 入 保 険 料 (B)	手持共済掛金 (A) ± (B)		
				延	実							
う ん し ゅ	(減収総合一般)	令和7年産計 A		人 216	人 158	a 2,058.4	円 26,510,000	円 235,368	円 147,629	円 382,997		
		令和6年産計 B		238	170	2,253.3	29,030,000	268,230	168,214	436,444		
		前年対比 A－B		△22	△12	△194.9	△2,520,000	△32,862	△20,585	△53,447		
		参考	1 組合員当たり				13.0	167,785				
			10 アール当たり					128,789				
	う み か ん	(災害収入)	令和7年産計 A		68	68	2,495.6	55,874,000	485,925	294,712	780,637	
令和6年産計 B			77	77	2,923.9	62,068,000	555,849	337,109	892,958			
令和5年産計 C			93	93	3,596.1	82,108,000	778,668	472,294	1,250,962			
前年対比 A－B			△9	△9	△428.3	△6,194,000	△69,924	△42,397	△112,321			
参考			1 組合員当たり				36.7	821,676				
		10 アール当たり					223,890					
な つ み か ん	(減収総合一般)	令和8年産計 A		11	11	83.0	806,000	4,533	1,547	6,080		
		令和7年産計 B		18	18	139.0	1,344,000	8,122	2,775	10,897		
		令和6年産計 C		20	20	150.0	1,559,000	9,911	3,388	13,299		
		前年対比 A－B		△7	△7	△56.0	△538,000	△3,589	△1,228	△4,817		
		参考	1 組合員当たり				7.5	73,273				
	10 アール当たり			97,108								
指 定 か ん き つ	(減収総合一般)	令和8年産計 A		113	92	1,112.5	18,971,000	167,912	134,130	302,042		
		令和7年産計 B		126	102	1,287.0	23,442,000	218,536	174,583	393,119		
		令和6年産計 C		132	106	1,378.9	26,831,000	254,689	203,432	458,121		
		前年対比 A－B		△13	△10	△174.5	△4,471,000	△50,624	△40,453	△91,077		
		参考	1 組合員当たり				12.1	206,207				
	10 アール当たり			170,526								
	(災害収入)		令和8年産計 A		59	59	2,754.5	77,735,000	737,967	601,188	1,339,155	
			令和7年産計 B		65	65	3,137.2	87,299,000	803,978	654,945	1,458,923	
			令和6年産計 C		78	78	3,997.7	108,093,000	982,350	800,276	1,782,626	
			前年対比 A－B		△6	△6	△382.7	△9,564,000	△66,011	△53,757	△119,768	
			参考	1 組合員当たり				46.7	1,317,542			
				10 アール当たり					282,211			

果 樹 区 分		項 目 年 産		組 合 員 数		引 受 面 積	共 済 金 額	徴収共済掛金 (A)	交 付 金 又 は 納 入 保 険 料 (B)	手持共済掛金 (A) ± (B)
				延	実					
りんご	(減収総合一般)	令和7年産計 A		人 10	人 4	a 254.0	円 10,388,000	円 253,428	円 △79,370	円 174,058
		令和6年産計 B		13	5	376.5	14,535,000	377,341	△118,272	259,069
		前年対比 A－B		△3	△1	△122.5	△4,147,000	△123,913	38,902	△85,011
		参考	1 組合員当たり			63.5	2,597,000			
			10アール当たり			408,976				
ぶどう	(減収総合一般)	令和7年産計 A		54	49	1,177.3	144,915,000	430,323	322,664	752,987
		令和6年産計 B		55	52	1,153.9	129,443,000	391,501	293,506	685,007
		前年対比 A－B		△1	△3	23.4	15,472,000	38,822	29,158	67,980
		参考	1 組合員当たり			24.0	2,957,449			
	10アール当たり		1,230,910							
	(災害収入)	令和7年産計 A		4	2	351.9	58,684,000	273,407	167,617	441,024
		令和6年産計 B		6	3	515.1	80,651,000	365,300	224,078	589,378
		前年対比 A－B		△2	△1	△163.2	△21,967,000	△91,893	△56,461	△148,354
		参考	1 組合員当たり			176.0	29,342,000			
	10アール当たり		1,667,633							
なし	(減収総合一般)	令和7年産計 A		12	7	235.7	8,290,000	176,462	△57,289	119,173
		令和6年産計 B		19	11	349.3	15,129,000	331,142	△107,998	223,144
		前年対比 A－B		△7	△4	△113.6	△6,839,000	△154,680	50,709	△103,971
		参考	1 組合員当たり			33.7	1,184,286			
			10アール当たり			351,718				
収 穫 共 済 計				547	450	10,522.9	402,173,000	2,765,325	1,532,828	4,298,153
前 年 対 比				△70	△53	△1,612.3	△ 40,768,000	△554,674	△96,112	△650,786

(引受の概要：収穫共済)

令和6年度の引受けは、うんしゅうみかん、なつみかん、指定かんきつ（はっさく、ネーブルオレンジ、清見、不知火、はるみ、レモン）、りんご、ぶどう、なしの6樹種を対象に半相殺減収総合一般方式、災害収入共済方式の2区分の収穫共済で実施した。
常緑果樹は、新規引受けはあったが、高齢化による栽培規模の縮小、廃園等による加入中止、収入保険への移行などにより44人、1,236.4aの減少となった。
落葉果樹は、新規引受けはあったが、伐採、廃園等による加入中止、収入保険への移行などにより9人、375.9aの減少となった。

令和5年産結果樹面積（参考数値）に対する引受率及び前年対比（面積）は、うんしゅうみかん（半相殺減収総合一般方式）1.4%、91.4%、うんしゅうみかん（災害収入共済方式）1.7%、85.4%、なつみかん（半相殺減収総合一般方式）1.9%、59.7%、指定かんきつ（半相殺減収総合一般方式）1.7%、86.4%、指定かんきつ（災害収入共済方式）2.8%、87.8%、りんご（半相殺減収総合一般方式）2.9%、67.5%、ぶどう（半相殺減収総合一般方式）4.3%、102.0%、ぶどう（災害収入共済方式）1.3%、68.3%、なし（半相殺減収総合一般方式）1.7%、67.5%となった。

△印 減

果 樹 区 分		項 目 年 度	組 合 員 数		引 受 面 積	共 済 金 額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料(B)	手持共済掛金 (A) ± (B)
			延	実					
樹 体	うんしゅうみかん	令和6年度計 A	人 2	人 2	a 73.1	円 7,754,000	円 15,663	円 14,478	円 30,141
		令和5年度計 B	2	2	68.1	7,887,000	16,957	15,680	32,637
		前年対比 A－B	0	0	5.0	△133,000	△1,294	△1,202	△2,496
		参考 1 組合員当たり			36.6	3,877,000			
	なつみかん	10 アール当たり				1,060,739			
		令和6年度計 A	0	0	0.0	0	0	0	0
		令和5年度計 B	0	0	0.0	0	0	0	0
		前年対比 A－B	0	0	0.0	0	0	0	0
		参考 1 組合員当たり			-	-			
	指定かんきつ	10 アール当たり				-			
		令和6年度計 A	2	2	49.4	17,049,000	10,997	9,616	20,613
		令和5年度計 B	2	2	46.4	16,485,000	11,292	9,959	21,251
		前年対比 A－B	0	0	3.0	564,000	△295	△343	△638
		参考 1 組合員当たり			24.7	8,524,500			
	りんご	10 アール当たり				3,451,215			
		令和6年度計 A	0	0	0.0	0	0	0	0
		令和5年度計 B	0	0	0.0	0	0	0	0
		前年対比 A－B	0	0	0.0	0	0	0	0
共 済	ぶどう	参考 1 組合員当たり			-	-			
		10 アール当たり				-			
		令和6年度計 A	1	1	9.0	5,286,000	18,686	16,261	34,947
		令和5年度計 B	1	1	9.0	4,822,000	18,155	15,812	33,967
	なし	前年対比 A－B	0	0	0.0	464,000	531	449	980
		参考 1 組合員当たり			9.0	5,286,000			
		10 アール当たり				5,873,333			
		令和6年度計 A	0	0	0.0	0	0	0	0
		令和5年度計 B	0	0	0.0	0	0	0	0
		前年対比 A－B	0	0	0.0	0	0	0	0
		参考 1 組合員当たり			-	-			
	樹 体 共 済 計	10 アール当たり				-			
		令和6年度計 A	5	5	131.5	30,089,000	45,346	40,355	85,701
		令和5年度計 B							
		前年対比 A－B							
	果 樹 共 済 計	令和6年度計 A	552	455	10,654.4	432,262,000	2,810,671	1,573,183	4,383,854
		令和5年度計 B							
		前年対比 A－B							
		令和6年度計 A	△70	△53	△1,604.3	△39,873,000	△555,732	△97,208	△652,940

(引受の概要：樹体共済)

令和6年度の引受けは、うんしゅうみかん、なつみかん、指定かんきつ、りんご、ぶどう、なしの6樹種を対象に実施したが、うんしゅうみかん、指定かんきつ、ぶどうの3樹種での引受けとなり、組合員数は前年と同様で、引受面積は結果樹齢に達したことにより8.0aの増加となった。

令和5年産結果樹面積（参考数値）に対する引受率は、うんしゅうみかん0.05%、指定かんきつ0.08%、ぶどう0.03%となった。

果樹区分			項 目		年産 (度)	被 害 組 合 員 数	共 済 金	共 済 金	支 払 月 日	実 支 払 共 済 金	共 済 金 支 払 財 源					△印 減			
								共 済 金			保 険 金	手 持 掛 金 充 当 額	法 定 積 立 金 充 当 額	特 別 積 立 金 充 当 額	そ の 他	実 支 払			
								共済金額								共 済 金	共 済 金		
収穫共済	うんしゅうみかん	(一 般)	6	3	54,470	0.2	円	%	令和7年3月3日	円 54,470	0	844,240	円	円	円	%	100.0		
	なつみかん	(一 般)	6	0	0	0.0	-	0	0										
	指定かんきつ	(一 般)	6	6	399,740	1.5	令和6年7月5日	399,740	0										
	りんご	(一 般)	6	2	159,120	1.1	令和7年2月5日	159,120	0										
	ぶ ど う	(一 般)	6	1	69,780	0.1	令和6年12月11日	69,780	0										
	な し	(一 般)	6	3	161,130	1.1	令和6年12月11日	161,130	0										
樹体共済	うんしゅうみかん		6	0	0	0.0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	指定かんきつ		6	0	0	0.0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	ぶどう		6	0	0	0.0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
収穫共済	うんしゅうみかん	(災 害)	5	11	1,095,450	1.3	令和6年11月14日	1,095,450	0	1,095,450	0	1,095,450	0	1,559,538	0	0	100.0		
	指定かんきつ	(災 害)	6	8	1,559,538	1.8	令和6年11月14日	1,559,538	0	1,559,538								0	100.0
	ぶ ど う	(災 害)	6	0	0	0.0	-	0	0	0								0	-
計				34	3,499,228	0.7		3,499,228	0	3,499,228	0	3,499,228	0	0	0	0	100.0		
前 年 対 比				17	1,352,474			1,352,474	0	1,352,474	0	1,352,474	0	0	0				

(被害の概況)

① 令和6年産 うんしゅうみかん（半相殺減収総合一般方式）

令和6年7月中旬から異常な高温と日照りが続き、日焼け果や急な降雨による裂果などの被害が発生した。
令和6年9月上旬からイノシシによる食害、枝折れの被害が発生した。

令和6年7月上旬から大量発生したカメムシによる吸汁被害が発生した。
令和6年7月中旬からサルによる食害の被害が発生した。

② 令和6年産 指定かんきつ（半相殺減収総合一般方式）

令和5年7月中旬から降雨が少なく干ばつ状態となり、小玉果の被害が発生した。
令和5年11月下旬からイノシシによる食害、枝折れの被害が発生した。

令和5年7月中旬から降雨が少なく干ばつ状態となり、小玉果の被害が発生した。
令和5年9月上旬からイノシシによる食害、枝折れによる被害が発生した。

③ 令和6年産 りんご（半相殺減収総合一般方式）

令和6年7月中旬から大量発生したカメムシ、ヤガによる吸汁被害が発生した。
令和6年7月中旬から異常な高温と日照りが続き、日焼け果の被害が発生した。

令和5年1月下旬の寒波の影響により枝枯れ、枯死、生理落果等の被害が発生した。
令和5年7月中旬から降雨が少なく干ばつ状態となり、小玉果の被害が発生した。
令和5年12月中旬は平年より気温が高く、降雨が多かったため、裂果、腐敗果、落果の被害が発生した。

④ 令和6年産 ぶどう（半相殺減収総合一般方式）

令和6年8月下旬からアライグマによる食害の被害が発生した。

(4) 畑作物共済関係

(引 受)

△印 減

項目 年度	畑作物 区分	組合員数	引受面積	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A)±(B)	農林統計 引受率
		人	a	円	円	円	円	%
6	大豆	27	4,901.0	5,625,691	202,866	△8,616	194,250	12.3
	前年対比	△8	△54.8	△18,449	△16,034	1,204	△14,830	△0.1

項目 年度	畑作物 区分	10アール当たり平均		1組合員当たり平均		平均単位当たり 共済金額 (kg当たり)
		基準 収穫量	農家負担 掛金	引受面積	農家負担 掛金	
		kg	円	a	円	円
6	大豆	95	414	181.5	7,514	144.97
	前年対比	0	△28	39.9	1,260	

引受の概要

農業経営収入保険へ移行したことや作付中止及び作付面積の減少、他の作物への転換により、引受面積は49.0ha（対前年比98.9％）、共済金額は563万円（対前年比99.7％）となった。引受率は、県内の作付面積400haに対し、12.3％となった。

(被 害)					△印 減			
項目 年度	畑作物 区 分	被 組 合 員 害 数	被 害 面 積	共 済 金	共 済 金	1 戸 当 た り 平 均		備 考
					共 済 金 額	被 害 面 積	共 済 金	
6	大 豆	人 17	a 3,091.4	円 213,025	% 3.8	a 181.8	円 12,531	
前 年 対 比		2	880.7	37,224	0.7	34.4	811	

被害の概要

(大 豆)

播種期の降雨による土壌の湿潤により、土中が酸素欠乏となり発芽不良や生育不良が発生した。

梅雨明けからの高温や少雨による干害で、水不足となり生育不良が発生した。

獣害は、全域で生育初期からのシカによる新芽の食害、子実肥大期から収穫時期にはイノシシによる食害や踏み荒らしの被害が発生した。

虫害では、カメムシが莢を吸汁し、落莢、板莢、子実の変形・変色の被害が発生した。

(支 払)					△印 減				
項目 年度	畑作物 区 分	支 払 月 日	実 支 払 共 済 金	共 済 金		支 払 財 源			実支払共済金 共 済 金
				保 険 金	手 持 掛 金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	そ の 他	
6	大 豆	令和7年3月24日	円 213,025	円 0	円 194,250	円 18,775	円 0	円 0	% 100.0
前 年 対 比			37,224	0	18,449	18,775	0	0	

(5) 園芸施設共済関係

(引 受)

△印 減

項 目 施 設 区 分		組 合 員 数	引 受 棟 数	設 置 面 積	共 済 価 額	共 済 金 額	徴収共済掛金 (A)	交 付 金 又 は 納入保険料(B)	手持共済掛金 (A) ± (B)
		人	棟	m ²	千円	千円	円	円	円
ガ ラ ス 室 I 類		1	1	274	2,039	1,631	946	816	1,762
〃 II 類		7	18	4,780	66,001	56,817	11,469	4,354	15,823
プラスチックハウス I 類		0	0	0	0	0	0	0	0
〃 II 類		1,296	4,598	1,128,664	4,433,966	3,710,313	15,356,705	5,832,619	21,189,324
〃 III 類		61	91	110,951	774,111	702,779	967,099	572,207	1,539,306
〃 IV 類	甲	47	110	89,445	803,332	587,791	1,105,550	576,405	1,681,955
	乙	18	39	36,616	534,611	430,222	111,264	48,371	159,635
〃 V 類		22	49	47,640	492,218	404,826	224,475	134,193	358,668
〃 VI 類		55	196	32,710	68,161	55,241	464,643	235,671	700,314
〃 VII 類		2	2	2,657	985	913	31,588	12,747	44,335
計		1,509	5,104	1,453,737	7,175,424	5,950,533	18,273,739	7,417,383	25,691,122
前 年 対 比		34	83	33,347	73,296	70,794	△ 4,876,126	2,649,455	△ 2,226,671

項 目 施 設 区 分		1 組 合 員 当 た り				1 棟 当 た り		
		棟 数	面 積	共 済 金 額	農 家 掛 金	面 積	共 済 金 額	農 家 掛 金
		棟	m ²	千円	円	m ²	千円	円
ガ ラ ス 室 I 類		1	274	1,631	946	274	1,631	946
〃 II 類		3	683	8,117	1,638	266	3,157	637
プラスチックハウス I 類		0	0	0	0	0	0	0
〃 II 類		4	871	2,863	11,849	245	807	3,340
〃 III 類		1	1,819	11,521	15,854	1,219	7,723	10,627
〃 IV 類	甲	2	1,903	12,506	23,522	813	5,344	10,050
	乙	2	2,034	23,901	6,181	939	11,031	2,853
〃 V 類		2	2,165	18,401	10,203	972	8,262	4,581
〃 VI 類		4	595	1,004	8,448	167	282	2,371
〃 VII 類		1	1,329	456	15,794	1,329	456	15,794
計		3	963	3,943	12,110	285	1,166	3,580
前 年 対 比		0	0	△ 43	△ 3,585	2	△ 5	△ 1,031

引受の概要

令和6年度の引受けは、未継続や廃業等により減少もあったが、未加入者への戸別訪問や、新規就農者の加入により、引受戸数、引受棟数、引受面積、共済価額、共済金額は増加した。

有資格棟数(令和6年12月組合調査)に対する引受率は61.5%となり、有資格戸数に対する引受率は、77.5%となった。

(被 害)		△印 減												
施 設 区 分		被 害			損 害 額	共 済 金							共済金額	
		組 合 員 数	棟 数	附 帯 施 設 数		特 定 設 施	附 帯 施 設	施 設 作 業	内 物	撤 去 費 用	本 復 旧 費 用	附 帯 復 旧 費 用	合 計	
		人	棟	基	円	円	円	円	円	円	円	円	円	%
ガ ラ ス 室 I 類		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
〃 II 類		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
プラスチックハウス I 類		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
〃 II 類		75	103	0	16,934,642	13,569,104	0	805,320	0	0	0	14,374,424	0.4	
〃 III類		4	4	0	169,023	155,356	0	0	0	0	0	155,356	0.0	
〃 IV類		甲	5	6	2	787,370	211,404	172,285	0	0	0	36,960	420,649	0.1
		乙	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
〃 V 類		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
〃 VI類		7	7	0	744,992	595,992	0	0	0	0	0	595,992	1.1	
〃 VII類		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
計		91	120	2	18,636,027	14,531,856	172,285	805,320	0	0	36,960	15,546,421	0.3	
前 年 対 比		30	51	1	11,686,907	11,302,969	169,833	805,320	△ 132,055	△ 2,113,264	△ 108,705	9,924,098	0.2	

施 設 区 分	項 目	1 組 合 員 当 た り			1 棟 当 た り		被 害 棟 数						
		棟 数	共 済 金	被害率	共 済 金	被害率	施 設 本 体	附 帯 施 設	施 農 設 作	内 物	撤 去 費 用	本 復 旧 費 用	附 復 旧 費 用
ガ ラ ス 室 I 類	棟		円	%	円	%	棟	棟		棟	棟	棟	棟
	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0
〃 II 類	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0
プラスチックハウス I 類	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0
〃 II 類	1.4	191,659	6.7	139,558	17.3	93	0	10	0	0	0	0	0
〃 III 類	1.0	38,839	0.3	38,839	0.5	4	0	0	0	0	0	0	0
〃 IV 類	甲	1.2	84,130	0.7	70,108	1.3	4	2	0	0	0	0	1
	乙	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
〃 V 類	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0
〃 VI 類	1.0	85,142	8.5	85,142	30.2	7	0	0	0	0	0	0	0
〃 VII 類	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		1.3	170,840	4.3	129,554	11.1	108	2	10	0	0	0	1
前 年 対 比		0.2	78,671	2.0	48,071	4.1	39	1	10	△ 3	△ 10	△ 2	

被害の概要

令和6年度の被害状況は、年間を通じた強風により、被覆材に被害が発生し、支払対象は68戸、78棟となった。また、1月10日及び2月1日～8日の大雪により、施設本体の倒壊等の被害が発生し、支払対象は19戸、29棟となった。その他、5月に車両の衝突により本体と被覆材に、7月の落雷と3月の凍結により附帯施設に被害が発生し、支払対象は3戸、3棟となった。施設内農作物については、かいよう病により支払対象は1戸、10棟となった。

(支 払)		共 済 金 支 払 財 源				実支払共済金 共 済 金
実 支 払 共 済 金		保 険 金	手持掛金充当額	法定積立金充当額	特別積立金充当額	
円 15,546,421		円 7,128,013	円 8,418,408	円 0	円 0	円 100.0%

(6) 任意共済関係

① 建物共済

(引受関係)								△印 減
	加 入 棟 数	共 済 金 額	共 済 掛 金		1 棟 当 た り 平 均 共 済 金 額	保 険 料	保 険 手 数 料	
			純 共 済 掛 金	賦 課 金				
	棟	円	円	円	円	円	円	
	88,638	1,025,529,580,000	632,928,530	424,681,962	11,569,864	363,158,440	120,982,001	
前 年 対 比	△2,815	△30,428,210,000	△12,228,372	△9,346,135	23,411	△7,001,389	△ 2,597,208	

引受の概要

令和6年度は、724棟、74億1,397万円の新規引受けはあったものの、他共済への移行、無人住宅の増加等により、昨年度に比べ、火災共済は2,422棟、288億9,412万円、総合共済は393棟、15億3,409万円と棟数、共済金額全てにおいて減少となり、合計では2,815棟、304億2,821万円減少した。

(事故関係)								△印 減
	事 故 棟 数	加 入 総 共 済 金 額 (イ)	支 払	共 済 金		保 険 金	被 害 率 (ロ)/(イ)	
			火 災 等	風 水 害 等	合 計 (ロ)			
	棟	円	円	円	円	円	%	
	601	8,110,530,000	231,194,069	30,435,982	261,630,051	78,554,892	3.23	
前 年 対 比	△562	△5,118,840,000	△78,667,998	△76,772,795	△155,440,793	△46,565,930	0.08	

事故の概要

令和6年度は、昨年度に比べ562棟、約1億5,544万円と棟数、支払共済金ともに減少した。火災等の事故は、全焼事故が12棟あったものの、支払共済金は約7,867万円減少し、風水害等、自然災害の事故は、令和7年1月中旬から2月上旬にかけて積雪による事故の支払いがあったものの、支払共済金は約7,677万円減少した。

(建物共済原因別事故発生状況)

△印 減

事 故 の 原 因 別	事 故 棟 数	加 入 総 共 済 金 額 (イ)	支 払 共 済 金 (ロ)	保 險 金	被 害 率 (ロ)/(イ)	支 払 割 合
	棟	円	円	円	%	%
た ば こ	1	1,000,000	27,422	8,226	2.7	0.0
ス ト ー ブ	1	23,700,000	32,423,760	9,727,127	136.8	12.4
灯 火	1	36,000,000	8,308,090	2,492,426	23.1	3.2
漏 電	1	24,000,000	26,573,675	7,972,102	110.7	10.2
その他の電気器具等 の 加 熱 等	3	45,000,000	31,979,859	9,593,957	71.1	12.2
不 明 ・ 調 査 中	2	18,000,000	20,685,120	6,205,536	114.9	7.9
類 焼	9	45,050,000	59,324,874	17,797,460	131.7	22.7
火 災 合 計 ①	18	192,750,000	179,322,800	53,796,834	93.0	68.5
前 年 対 比	△ 13	△ 161,450,000	△ 73,746,543	△ 22,123,960	21.6	7.8
水 道 管 凍 結	73	1,098,250,000	2,256,038	676,799	0.2	0.9
落 雷	194	3,165,880,000	29,790,282	8,937,015	0.9	11.4
外部からの落下等	72	1,016,000,000	2,711,009	813,278	0.3	1.0
車両の飛び込み	20	278,650,000	2,801,495	840,443	1.0	1.1
給 排 水 設 備	44	860,100,000	12,297,830	3,689,331	1.4	4.7
盗難による汚毀損	7	90,400,000	516,991	155,096	0.6	0.2
建物内部の車両衝突	6	74,000,000	1,497,624	449,287	2.0	0.6
拡 張 担 保 合 計 ②	416	6,583,280,000	51,871,269	15,561,249	0.8	19.8
前 年 対 比	△ 90	△ 1,543,640,000	△ 4,921,455	△ 1,476,413	0.1	6.2
自 然 災 害 以 外 の 合 計 ① + ②	434	6,776,030,000	231,194,069	69,358,083	3.4	88.4

△印 減

事 故 の 原 因 別	事 故 棟 数	加 入 総 共 済 金 額 (イ)	支 払 共 済 金 (ロ)	保 險 金	被 害 率 (ロ)/(イ)	支 払 割 合
	棟	円	円	円	%	%
強 風	6	68,000,000	290,131	87,036	0.4	0.1
大 雨 ・ 豪 雨	3	19,000,000	748,366	224,509	3.9	0.3
風 水 台 風	4	50,000,000	1,495,007	448,501	3.0	0.6
暴 風 雨	8	111,000,000	1,478,076	443,420	1.3	0.6
雹 害	2	7,000,000	55,114	16,533	0.8	0.0
積 雪	141	1,034,500,000	25,906,655	7,771,939	2.5	9.9
そ の 他 の 雪 害	2	35,000,000	132,221	39,665	0.4	0.1
自 然 災 害 合 計 ③	166	1,324,500,000	30,105,570	9,031,603	2.3	11.5
前 年 対 比	△ 460	△ 3,423,750,000	△ 77,103,207	△ 23,130,763	0.0	△ 14.2
地 震	1	10,000,000	330,412	165,206	3.3	0.1
地 震 等 合 計 ④	1	10,000,000	330,412	165,206	3.3	0.1
前 年 対 比	1	10,000,000	330,412	165,206	3.3	0.1
合 計	601	8,110,530,000	261,630,051	78,554,892	3.2	100.0
前 年 対 比	△ 562	△ 5,118,840,000	△ 155,440,793	△ 46,565,930	0.0	－

② 農機具共済 (引受関係)					△印 減
	加 入 台 数	共 済 金 額	共 済 掛 金		1 台 当 た り
			純 共 済 掛 金	賦 課 金	平 均 共 済 金 額
	台	円	円	円	円
	9,263	21,817,620,000	66,690,966	32,231,621	2,355,351
前 年 対 比	△135	378,740,000	1,317,528	556,284	74,134

引受の概要

令和6年度は、562台、16億181万円の新規引受けがある一方、高齢化等による離農で個人所有の加入農機具の廃棄、売却等があり、昨年度に比べ、台数は135台減少したが、新規加入や法人等の大型農機具の引受けにより、共済金額は3億7,874万円増加した。

(事故関係)							△印 減
	事 故 台 数	加 入 総 共 済 金 額 (イ)	支 払	共 済 金			被 害 率 (ロ)/(イ)
			火 災 等	風 水 害 等	そ の 他	合 計 (ロ)	
	台	円	円	円	円	円	%
	111	462,710,000	8,086,263	114,119	35,425,266	43,625,648	9.43
前 年 対 比	13	△15,900,000	7,148,433	△214,880	△506,756	6,426,797	1.66

事故の概要

令和6年度は、昨年度に比べ13台、約643万円と台数、支払共済金ともに増加した。火災等の事故は、物体の落下・飛来等で9台、風水害等の事故は、雪害で1台となった。また、その他の事故は、衝突、接触、墜落、転覆及び異物の巻き込み等の稼働中の事故が合わせて101台となり、全体の91.0%を占めた。

(7) 農機具更新共済関係

(引受関係)								△印 減
	加 入 台 数	共 済 金 額	減 価 共 済 金 額	共 済 掛 金				1 台 当 た り
				純 共 済 掛 金		賦 課 金	計	平 均
				損 害 部 分	減 価 部 分			共 済 金 額
	台	円	円	円	円	円	円	円
	0	0	0	0	0	0	0	0
前 年 対 比	△1	△4,720,000	△4,720,000	△13,971	△646,640	△14,821	△675,432	△4,720,000

引受の概要

新規引受けもなく、事故により共済関係が終了したため、台数で1台、共済金額で472万円の減少となった。

(事故関係)									△印 減
	事故台数	期 間	加 入	支 払 共 済 金					被 害 率
		満 了	総 共 済 金 額 (イ)	事 故 に よ る も の				期 間 満 了 の も の	(ロ)/(イ)
		台 数		火 災	風 水 害 等	そ の 他	計 (ロ)		
	台	台	円	円	円	円	円	円	%
	1	0	4,720,000	0	0	4,775,019	4,775,019	0	101.2
前 年 対 比	1	△1	2,580,000	0	0	4,775,019	4,775,019	△2,140,000	101.2

事故の概要

田植機の接触事故により共済金605,213円と合わせて減価共済金4,169,806円を支払い、期間満了を前に共済関係は終了した。

(8) 農業経営収入保険関係

(引 受)					△印 減			
経 営 形 態	加 経 営 体	基 準 収 入	保 険 金 額	補 填 対 象 金 額	納 入 保 険 料 等			
					保 険 料	積 立 金	事 務 費	合 計
	経営体	円	円	円	円	円	円	円
個 人	1,221	6,945,341,612	4,851,126,338	590,149,826	60,494,997	147,537,878	14,172,735	222,205,610
法 人	288	7,542,499,438	5,391,737,296	627,017,826	62,370,399	156,754,554	13,027,639	232,152,592
計	1,509	14,487,841,050	10,242,863,634	1,217,167,652	122,865,396	304,292,432	27,200,374	454,358,202
前 年 対 比	15	132,693,759	93,436,579	△2,796,800	16,269,383	△699,205	△184,685	15,385,493

引受の概要

令和6年度の引受けは、未継続や廃業等により減少もあったが、未加入者への個別訪問により前年度に比べて15経営体の増加となった。

1 経営体当たりの基準収入額は、個人経営体で約569万円、法人経営体で約2,619万円となり、主な対象品目は、水稻、野菜、果樹、花きなどとなっている。

(支 払)					△印 減	
経 営 形 態	補 填 金				つ な ぎ 資 金	
	経 営 体 数	保 険 金	特 約 補 填 金	合 計	経 営 体 数	貸 付 金 額
	経営体	円	円	円	経営体	円
個 人	264	97,628,917	79,359,093	176,988,010	16	31,800,000
法 人	51	74,582,064	81,686,172	156,268,236	6	23,520,000
計	315	172,210,981	161,045,265	333,256,246	22	55,320,000
前 年 対 比	△183	△144,831,978	△160,704,715	△305,536,693	△4	△61,640,000

被害の概要

梅雨明け以降、水稻と果樹を中心に猛暑日が続き高温や少雨による生育不良やカメムシの吸汁被害等による品質低下等が発生した。獣害は、水稻を中心に県内全域でイノシシやシカによる食害や踏み荒らし等により収穫量や販売数量が減少した。また、加入者の病気等による販売数量の減少も起こった。

(9) 業 務 関 係
ア 重要な処理事項

月 日	行 事 内 容	場 所
令和6年		
4月2日～4日	新任職員研修会	広島市
4月16日	収穫園芸担当課長等会議	〃
4月23日	広島県農業共済研修基金運用委員会	〃
4月24日	「未来へつなぐ」サポート運動表彰審査委員会	〃
〃	部長・室課長・支所長会議	〃
4月30日	決算監査(北広島家畜診療所)	北広島町
〃	〃 (北広島支所)	〃
5月1日	収入保険担当課長会議	広島市
5月2日	決算監査(家畜臨床研修所・東広島家畜診療所)	東広島市
〃	〃 (東広島支所)	〃
5月7日	〃 (府中家畜診療所)	府中市
〃	〃 (福山支所)	福山市
5月9日	〃 (三次支所)	三次市
〃	〃 (三次家畜診療所)	〃
〃	〃 (庄原家畜診療所)	庄原市
5月13日	農作物共済・畑作物共済事務講習会	広島市
5月15日～16日	決算監査(本所)	〃
5月21日	余裕金運用管理委員会	〃
5月22日	広報委員会議	〃
5月23日	家畜共済特定損害防止事業担当者会議	広島市他
5月24日	果樹共済・園芸施設共済事務講習会	広島市
5月27日	情報セキュリティ委員会	〃
〃	コンプライアンス責任者会議	広島市他
5月29日	理事会	広島市
5月31日	任意共済担当課長等会議	〃
6月10日	家畜共済担当課長等会議	〃
6月12日	第11回通常総代会	〃
6月14日	任意共済事務講習会	〃
6月18日、19日、20日	コンプライアンス研修会	広島市他
6月21日	広島県農業保険推進協議会 第5回通常総会	広島市
〃	内部監査・情報セキュリティ監査(臨研・東広島診)	東広島市
6月24日	〃 (北広島診)	北広島町
6月26日	中国地区家畜共済担当者会議及び家畜臨床研修所担当者会議	広島市
6月28日	損害評価会 果樹共済常緑果樹部会	〃
7月2日	内部監査・情報セキュリティ監査(三次診)	三次市
〃	〃 (庄原診)	庄原市

月 日	行 事 内 容	場 所
7月4日	内部監査・情報セキュリティ監査(府中診)	府中市
7月8日	〃 (府中出張所)	〃
7月9日	〃 (福山支所)	福山市
〃	家畜診療所長会議	広島市
7月12日	内部監査・情報セキュリティ監査(三次支所)	三次市
7月16日	一般職員研修会Ⅱ	広島市
7月17日	中堅職員研修会	〃
7月18日	内部監査・情報セキュリティ監査(江田島連絡所)	江田島市
7月19日	〃 (東広島支所)	東広島市
7月22日	一般職員研修会Ⅰ	広島市
7月23日	内部監査・情報セキュリティ監査(廿日市出張所)	廿日市市
7月24日	〃 (北広島支所)	北広島町
7月25日～26日	初級職員研修会	広島市
7月29日	部長・室課長・支所長会議	〃
7月31日	家畜診療所運営委員会	〃
8月1日	内部監査・情報セキュリティ監査(収入保険課)	〃
8月2日	理事会	〃
〃	役員研修会	〃
8月5日	果樹共済(落葉果樹)損害評価現地研修会	三次市
〃	内部監査・情報セキュリティ監査(建物農機具課)	広島市
8月7日	〃 (収穫園芸課)	〃
8月8日	損害評価会 農作物共済部会	〃
8月9日	任意共済損害評価講習会	〃
8月19日	内部監査・情報セキュリティ監査(家畜課)	〃
〃	農作物共済(水稻)損害評価現地研修会	東広島市
8月21日	園芸施設共済損害評価現地研修会	〃
〃	内部監査・情報セキュリティ監査(企画情報課)	広島市
8月23日	〃 (総務課)	〃
8月26日	情報セキュリティ監査(監査室)	〃
8月27日	農業経営収入保険事務講習会	〃
8月29日	家畜共済事務講習会	〃
9月11日	部長・室課長・支所長会議	〃
9月18日	余裕金運用管理委員会	〃
9月24日	果樹共済(常緑果樹)損害評価現地研修会	呉市
9月26日	理事会	広島市
〃	監事会	〃
10月2日	広報委員会議	〃

月 日	行 事 内 容	場 所
10月8日	家畜診療所長会議	広島市
10月11日	園芸施設共済加入推進会議	広島市他
10月22日	初級管理職研修会	広島市
10月23日	管理職研修会	〃
10月28日	コンプライアンス責任者会議	〃
〃	部長・室課長・支所長会議	〃
10月29日	畑作物共済(大豆)損害評価現地研修会	三次市
11月5日	中間監査(臨研・東広島診)	東広島市
〃	〃 (東広島支所)	〃
11月6日	〃 (府中診)	府中市
〃	〃 (福山支所)	福山市
11月7日	損害評価会 果樹共済常緑果樹部会	広島市
11月8日	収入保険担当課長会議	〃
11月12日	中間監査(北広島診)	北広島町
〃	〃 (北広島支所)	〃
11月13日	任意共済加入推進会議	広島市他
11月14日	中間監査(三次支所)	三次市
〃	〃 (三次診)	〃
〃	〃 (庄原診)	庄原市
11月18日	余裕金運用管理委員会	広島市
11月19日～20日	中間監査(本所)	〃
11月22日	理事会 事業委員会	〃
〃	理事会 総務委員会	〃
11月29日	農作物共済(水稻)に係る損害評価等検討会	広島市他
12月2日	理事会	広島市
12月4日	損害評価会 果樹共済落葉果樹部会	〃
12月5日	収入保険担当課長会議	広島市他
〃	収入保険担当者会議	〃
12月6日	家畜診療所長会議	広島市
12月9日	内部監査(府中診)	府中市
12月10日	〃 (臨研・東広島診)	東広島市
12月12日	〃 (三次診)	三次市
〃	〃 (庄原診)	庄原市
〃	損害評価会 農作物共済部会	広島市
12月13日	内部監査(北広島診)	北広島町
〃	システム運用検討会議	広島市
12月17日	臨時総代会	〃

月 日	行 事 内 容	場 所
12月17日	内部監査(府中出張所)	府中市
12月18日	〃 (福山支所)	福山市
12月19日	部長・室課長・支所長会議	広島市
12月20日	内部監査(廿日市出張所)	廿日市市
12月23日	〃 (北広島支所)	北広島町
〃	損害評価会 農作物共済部会	広島市
12月25日	内部監査(三次支所)	三次市
令和7年		
1月9日	内部監査(江田島連絡所)	江田島市
1月10日	〃 (東広島支所)	東広島市
1月17日	〃 (収入保険課)	広島市
1月20日	〃 (企画情報課)	〃
〃	正副組合長会議	〃
1月21日	情報セキュリティ委員会	〃
1月22日	内部監査(建物農機具課)	〃
1月23日	家畜共済事務講習会(診療所)	〃
1月24日	N O S A I 熊本組織再編視察研修	〃
1月24日	内部監査(収穫園芸課)	〃
1月28日	〃 (家畜課)	〃
〃	収穫園芸担当課長等会議	〃
1月29日	損害評価会 果樹共済落葉果樹部会	〃
1月30日	内部監査(総務課)	〃
〃	家畜診療技術講習会	〃
1月31日	任意共済担当課長等会議	〃
2月3日	家畜共済担当課長等会議	〃
2月6日	部長・室課長・支所長会議	〃
2月19日	理事会 事業委員会	〃
〃	理事会 総務委員会	〃
2月21日	損害評価会 果樹共済常緑果樹部会	〃
2月28日	理事会	〃
〃	監事会	〃
3月3日	コンプライアンス責任者会議	〃
〃	部長・室課長・支所長・所長会議	〃
3月4日	損害評価会 家畜共済部会	〃
3月5日	広報委員会	〃
3月7日	損害評価会 任意共済部会	〃
3月10日	コンプライアンス改善委員会	〃

月 日	行 事 内 容	場 所
3月10日	収入保険担当課長会議	広島市他
3月11日	余裕金運用管理委員会	広島市
3月12日	家畜診療所長会議	〃
〃	情報セキュリティ委員会	〃
3月13日	損害評価会 農作物共済部会	〃
3月14日	損害評価会 畑作物共済部会	〃
3月18日	臨時総代会	〃
3月19日	広島県農業保険推進協議会臨時総会	〃
3月21日	任意共済システム検討会	広島市他
3月24日	理事会	広島市
〃	監事会	〃
3月26日	「未来へつなぐ」サポート運動実践企画会議	〃

イ 総 代 会

(ア) 通常総代会

(令和6年6月12日)

総代会日現在総代数 (A)	151人	出 席 率	
本 人 出 席 (B)	40人	$(B)/(A)$	26.49%
代 理 出 席	0人		
書 面 出 席	107人		
出 席 者 計 (C)	147人	$(C)/(A)$	97.35%

重要な議事及び議決事項

1. 令和5年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案並びに不足金処理案について
2. 令和6年度事業計画設定について
3. 令和6年度事務費賦課額及び賦課方法について
4. 令和6年度役員報酬、顧問料、損害評価会委員、損害評価会支所委員、家畜診療所運営委員、損害評価員及び共済委員等の手当支給額について
5. 令和6年度における借入金の最高限度額について
6. 令和6年度余裕金預入先決定について
7. 実施体制の改善計画の一部変更について
8. 損害評価会委員及び損害評価会支所委員の退任及び補充選任について

(イ) 臨時総代会

(令和6年12月17日)

総代会日現在総代数 (A)	148人	出 席 率	
本 人 出 席 (B)	10人	$(B)/(A)$	6.76%
代 理 出 席	0人		
書 面 出 席	134人		
出 席 者 計 (C)	144人	$(C)/(A)$	97.30%

重要な議事及び議決事項

1. 果樹共済危険段階別共済掛金率の設定について
2. 畑作物共済危険段階別共済掛金率の設定について
3. 職員退職給与規則の一部改正について
4. 損害評価会委員の退任及び補充選任について

(令和7年3月18日)

総代会日現在総代数 (A)	147人	出 席 率	
本 人 出 席 (B)	9人	$(B)/(A)$	6.12%
代 理 出 席	0人		
書 面 出 席	133人		
出 席 者 計 (C)	142人	$(C)/(A)$	96.60%

重要な議事及び議決事項

1. 事業規程の一部変更について
2. 職員給与規則の一部改正について

ウ 組合員の増減

年度始組合員数	年度末組合員数	増 減 (△)	摘 要
56,941人	54,715人	△2,226人	

エ 役職員その他

(7) 役職員

役員数	理 事						監 事		合 計		
	常 勤 0人		非常勤 13人		計 13人		3人		16 人		
職員数	事項 性別	参 事	監 査 室	事 業 部			家 畜 部	総 務 部		計	
				農 作 物 畑 作 物 果 樹 園芸施設	任 意	収 入 保 険	家 畜	総 務	企 画 情 報		
	男 女 計	人 1	人 3	人 5	人 3 1	人 3 1	人 18 16	人 5 3	人 4 2	人 42 23	
		1	3	5	4	4	34	8	6	65	
		事項 性別	北 広 島 支 所	東 広 島 支 所	福 山 支 所	三 次 支 所	計				計
	人 25 6										
	計	31	21	23	19	94					159

(イ) 職員勤務場所

	本 所	支 所 等	臨床研修所	診 療 所	計
男	人 28	人 70	人 1	人 13	人 112
女	9	24	1	13	47
計	37	94	2	26	159

(ウ) 総代、共済委員、NOSA I 部長、損害評価会委員、損害評価会支所委員、損害評価員

総 代	共 済 委 員	N O S A I 部 長	損 害 評 価 会 委 員	損 害 評 価 会 支 所 委 員	損 害 評 価 員
147 人	5,642 人	133 人	45 人	184 人	814 人

(10) そ の 他

ア 決算日後に生じた組合の状況に関する重要な事実
該当事項はなし